



学校だより

令和6年 12月 1日

東京都立村山特別支援学校

校長 阿部 智子

〒208-0012

武蔵村山市緑が丘 1460 番地 1

電話：042-564-2781

「急に冬になった。そんな印象の12月になりました。」



11月も暖かい日が続いていて、油断すると急に寒くなるという、「あわただしい11月」が終わりました。11月前半は、村山祭に向けた取り組みで学校全体がわさわさと音を立てているようでしたが、予想以上に児童・生徒は力を発揮してくれました。劇発表はもちろんですが、展示発表や模擬店などそれぞれ趣向を凝らして児童・生徒の笑顔につながる2日間となりました。写真にある5年生の作品「みのりのあき」は、かわいらしいリスの絵かかしら…、と思って近付いてみたところ、なんと子供たちの足形がリスの胴体になっていました。高学年になった成長の証を作品に取り入れ一人一人個性のあるリスが並んでいました。さて、今年は展示発表のところに、フラワーコミュニケーション活動として植えた、ニチニチソウのしおりが配布されました。お手に取っていただけましたでしょうか？

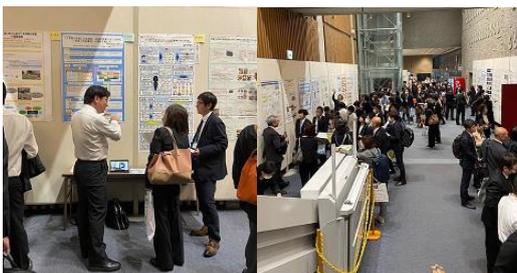
このしおりについては、7月19日付の学校だより夏休み前号を覚えていらっしゃるでしょうか？もし、覚えていない方は、ぜひ本校のホームページを御覧いただければと思います。



御来校の折、改めて、正門入口のニチニチソウを眺めてみてください。絶えることなく、次から次へと花を咲かせています。児童・生徒の計画では、「この花を押し花にして、しおりを作成して交流や文化祭で配布する」ということです。花を植えて愛でるだけでは終わらせない！「友情」や「優しさ」を花言葉とするこのニチニチソウを教材として児童・生徒が作品とすることで、交流や文化祭でのコミュニケーションの手段となるように、私はとても期待をしています。（学校だより7月19日号）

暑い暑い令和6年の夏の間、緑が丘校舎の正門周辺を彩ってくれたニチニチソウが文化祭で、戻ってきたのだと思うと、私には、なかなか感慨深いものがありました。仮設校舎で初めての7月8月の暑い夏でしたが、素敵な思い出になりました。武蔵村山市立雷塚小学校との交流会でもこのしおりをお渡しすると聞きました。雷塚小学校は本校舎のお隣の小学校です。いつまでも仲良く、友情の花言葉のニチニチソウで交流を続けていけたらと思います。

【全国肢体不自由教育研究協議会熊本大会 11月13日～11月15日】



全国特別支援学校肢体不自由教育校長会主催の研究協議会が、熊本県立熊本かがやきの森支援学校を主管校として熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール、国際交流会館、熊本かがやきの森支援学校を会場として行われました。本校からは校長と雛形主幹教諭、齋藤主任教諭が出席し、「12年間を見通した効果的、系統的授業の在り方研究～音楽[共通事項]を通して～」をテーマにポスター発表を行いました。全国に肢体不自由特別支援学校は226校ありますが、参集で一つの場所に集まる研究協議会は6年ぶりとなりました。ICTを活用した研究会も増えましたが、今回は対面でのポスター発表ですので持参した映像や資料を駆使して村山特別支援学校での研究を発表してきました。所狭しと張られた全国の肢体不自由特別支援学校から



のポスターを見て、そして、全国の先生方のプレゼンテーション発表を聞いて、これからの肢体不自由教育の発展に向けた勉強を、常にしていかなければならないと改めて思いました。

左の写真は、熊本かがやきの森支援学校の全校生徒が食事をする食堂です。熊本県の材木がふんだんに使われた美しい学校でしたが、10年前に新しく建設された熊本かがやきの森支援学校は、8年前の2016年4月14日21時26分に熊本県と大分県に相次いで発生した熊本地震の時に、新しく建設されて2年目の校舎が避難施設として近隣住民の方の避難所となったそうです。そういった様子や防災についても研究協議会の全体会でお話がありました。私は熊本城まで出掛ける時間はなかったのですが、石垣が崩れていたり、工事中のクレーン車がそ

ばにあたりと、まだ8年前の地震の爪痕は遠くから見ることができました。

熊本かがやきの森支援学校では授業の様子も拝見しましたが、熊本の児童・生徒も笑顔でしっかりと学習しているうれしく思いました。我々も広い視野をもって、肢体不自由特別支援学校のこれからの考えなければならぬと思いましたが、これから新校舎を建て、その本校舎で学ぶ子供たちを地域の皆様と一緒に育てていけるような素晴らしいものにしていかなければいけないという覚悟ももちました。

【本校舎の状況 11月20日現在】



熊本かがやきの森支援学校の木のぬくもりのある新しい校舎を見学してきた。ということで、11月20日(水)に本校舎の状況も見てまいりました。解体工事は全て終了し、更地になっていて敷地内には誰もいません。

12月の建設工事会社の決定を待つばかりです。校舎は何もありませんでしたが、お隣の国立感染症研究所村山庁舎の自衛消防訓練に参加してきました。自衛消防訓練には学園地区自治会の方もみえていて、御挨拶させていただきましたが、村山特別支援学校の、これから新しくなる校舎についてはとても期待をもって見守ってくださっていることが分かりました。近隣の方に御迷惑が掛からないように本校舎のこれからの見守っていきたく思います。

【授業参観週間 11月25日から29日まで】

5日間の授業参観でしたが、児童・生徒の学習の様子はいかがでしたでしょうか。お子様の該当学部のフロアだけでなく、他学部のフロアも参観可といたしましたので、小学部から中学部へ進学したらどのような学習を行っているのか、中学部から高等部になるとどのような雰囲気になるのか、授業の様子など、様々な角度から御覧いただけるように5日間の設定をさせていただきました。授業については授業のねらいや見どころを記した「授業参観ガイド」を掲示させていただきました。村山祭が終わってホッとする時期ではありますが、年度末のまとめに向けた学習に取り組んでいます。たくさんの御参観ありがとうございました。

【学校運営連絡協議会 学校評価アンケートにつきまして】

フォームでの学校評価についてのアンケート提出、または紙ベースでのアンケートの御回答、ありがとうございました。集計、内容の検討を行い、整理をしてすぐに対応できるものは実行していきます。令和7年2月6日(木)の第3回学校運営連絡協議会においてアンケート結果について報告を行い、委員の皆様から御意見をいただきます。学校運営連絡協議会評価委員長の法務省人権擁護委員、元東京都教育庁指導部盲・ろう・養護学校教育担当課長、初代永福学園校長 小林 進様から学校評価全体について御提言をいただき、村山特別支援学校として次年度への課題として迅速に取り組んでまいります。

【ダイジー図書の活用について・・・11月29日使い方プリント配布しました。御覧ください。】

村山祭では、2階の図書コーナーで実際のGIGAスクール端末を使った、マルチメディアDAISY図書の活用の仕方のプレゼンテーションを行いました。その時にお伝えした、アプリケーション「のじぎく」が児童・生徒の個人端末に入っています。タップすると個人端末で、たくさんのデジタルの本が見られますし、音声も出ますので、気軽に読み聞かせをすることができます。ぜひ御自宅でも本の世界を楽しむために活用していただければと思います。表示や読み上げの設定で読み上げの速さや文字の大きさなども変えられ、新たに読みたい本をダウンロードすることもできます。「使い方プリント」で分からないことは御質問ください。たくさんの本に触れてほしいです。